

特 別 委 員 会 調 査 報 告

平成 2 4 年 8 月 1 7 日

薩摩川内市議会

原子力発電所対策調査特別委員会

委員長 小 牧 勝 一 郎

1 委員会の開催日

7 月 3 1 日、8 月 1 1 日（2 日間）

2 川内原子力発電所の安全対策に関する調査

(1) 川内原子力発電所における信頼性向上対策の実施状況等について

当局から、6 月 2 5 日の委員会で質疑のあった信頼性向上対策の実施状況等について、補足説明を受け、質疑を行った。

(2) 平成 2 4 年度鹿児島県原子力防災訓練の実施について

当局から、平成 2 4 年度鹿児島県原子力防災訓練の目的、主催、訓練日時、訓練実施場所、訓練参加機関、訓練想定、訓練種目、前回訓練との変更点等について報告・説明を受けた。

なお、調査の過程において、避難時の渋滞や交通事故等への対応についての質疑があり、福島第一原子力発電所の事故では、避難に際して大渋滞が起きたという教訓から、県の暫定計画の中でも、スムーズに避難できるよう警察官を配置して交通誘導等に当たるよう定められている旨の答弁があった。

また、今回の訓練においてオフサイトセンターの運営訓練が実施されないことについての質疑があり、福島第一原子力発電所の事故対応において、現地オフサイトセンターが機能不全に陥ったこと等を踏まえ、現在、原子力安全・保安院において、オフサイトセンターの在り方に関する意見聴取会を設置し、立地や機能要件等について検討している最中であることから、オフサイトセンターについては、立ち上げのための通信連絡訓練のみとなった旨の答弁があった。

なお、調査の過程において述べられた意見・要望の概要は、次のとおりである。

ア 初めて訓練に参加する市民も多いことから、この機会を捉えて、非常持ち出し品の用意など、日頃からの災害への備えについての更なる啓発を図られたい。

イ 災害時の S P E E D I の情報については、全ての情報を迅速に公開するのが原則であり、そのことを県に強く働きかけられたい。

ウ 今後の原子力防災計画の本計画策定と、それに基づく原子力防災訓練の実施に当たっては、風向きや気象条件により複数の避難経路を想定するとともに、避難経路の意思決定と市民への広報を迅速に行えるよう、十分検討し、必要な体制を構築されたい。

(3) 現地視察

8月11日に実施された平成24年度鹿児島県原子力防災訓練において、次のとおり視察を行った。

ア 寄田町において、住民のバス・レンタカー等による避難訓練の様子を視察した。

イ 入来町において、車両除染、避難者に対するスクリーニング訓練等を視察した。